



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1128 / 2012. 12. 7

例 会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

http://www.akasakarotary.com/

東京赤坂ロータリークラブ週報

Weekly Report

2012～2013 年度クラブテーマ

会長 尾関 武男

「僅かなことにも手を差し伸べよう、そして信頼と絆」
Give a hand to even to the small things. Build trust and bonds.

●本日の例会/ 2012 年 12 月 7 日 第 1235 回

卓話 : 「2013 年 展望 陽はまた昇るか」

日経BP社 執行役員

日経ビジネス発行人 浅見 直樹 氏

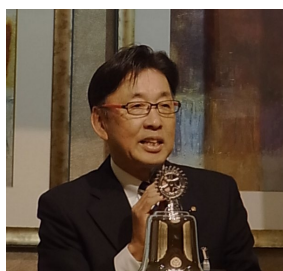
●前回報告/2012 年 11 月 30 日 第 1234 回例会

東京麻布 RC・東京赤坂 RC 合同例会

卓話予定 : 「新人の育て方」

株式会社酒井プロデュースオフィス

エグゼクティブプロデューサー 酒井 政利 氏



卓話紹介 : 石井会員

会長報告 :

- ①東京麻布ロータリークラブ 会長 加藤千博 氏
副会長 鈴江京子氏 / 幹事 水野勝広 氏 ご紹介
②東京麻布ロータリークラブ 加藤会長ご挨拶



東京赤坂 RC 尾関会長



東京麻布 RC 加藤会長



東京赤坂 RC

ニコニコ担当 小林会員



東京麻布 RC

ニコニコ担当 鈴江会員



11月 30日(金) / 11 件 30,000円

累計 491,000円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

東京麻布RC 加藤会長、鈴江副会長、水野幹事/尾関会長、清水副会長、飯島幹事、赤坂の皆様本日はよろしくお願ひします。尾関武男/本日は麻布RC、加藤会長、鈴江副会長、水野幹事並びに会員の皆様ようこそおいで下さいました。今日卓話をお願いしました酒井政利様よろしくお願ひします。飯島規之/寒くなってきました。風邪に気をつけましょう。酒井先生卓話楽しみにしています。小林さんニコニコご苦労様です。石井謙次/酒井さん本日の卓話宜しくお願ひ致します。西澤民夫/麻布の皆さんよくいらっしゃいました。よろしくお願ひします。村山公士/麻布ロータリーの皆様、本日はよろしくお願ひ致します。小原健/麻布の皆様、心から歓迎します。橋本年男/麻布の皆様ようこそ。髭を剃ったら風邪をひきました!!でもサッパリしました!!田村昭二/明日から師走です。とても寒いようです。麻布ロータリーの皆様よくいらっしゃいました。入沢頼二/麻布のみなさんこんにち。本日の例会を楽しみにしております。小林博茂/酒井さん卓話よろしくお願ひします。麻布のみなさんコンニチハ。今日も又ニコニコ担当の私です。

出席報告 :

東京赤坂 RC : 会員 40 名/出席 19 ・欠席 21 名

東京麻布 RC : 会員 21 名/出席 11 ・欠席 10 名

ゲスト : 酒井政利 (卓話)

ビジター : 酒井重人(東京日本橋 RC)

鈴木一行(東京神田 RC) 敬称略 3 名

●次回予告/ 2012 年 12 月 14 日(金) 第 1236 例会

卓話: 「大好きドラえもん」

東京世田谷ロータリークラブ 別紙 壮一 氏

11月21日(水) 18:00～より西澤会員が代表世話人をしていますオープンイノベーションフォーラム「ローマの市場にて」が、大手町の(株)産業革新機構の会議室で開催されました。学生・サラリーマン・経営者・学者 etc. さまざまな人たちが70名が一堂に会し、途中で退席する人もなく熱気に溢れていました。冒頭少し時間をいただき、2750地区で制作された“ロータリーとは”のPRビデオを上映し、口頭で国際ロータリー・赤坂ロータリーの紹介をいたしました。厳しい環境が続く日本のビジネスの中で、アイデアや知恵溢れる発表がありました。①第二回日本を創り継ぐプロジェクト、②ゲノム遺伝子大規模解析サービス、③マルチ検査デバイスによるオンサイト診断システム、④新しい時代が求める鉄道を核とした交通ビジネス、というようなテーマでフォーラムが進み、あっという間に二時間半が過ぎました。その後は慣例の懇親会で、夜遅く閉店までみなさんの話は終わりませんでした。(田村記)

参加者：

西澤、吉田、村山、岩上、
飯島、小林、田村



12月行事予定

7日(金) 第1235回例会

卓話：「2013年 陽はまた昇るか」

日経BP社 執行役員

日経ビジネス発行人 浅見直樹氏

定例理事会 13:40～15:00

14日(金) 第1236回例会

卓話：「大好きドラえもん」

東京世田谷ロータリークラブ

別紙 壮一氏

20日(木) 第1237回例会 忘年家族会 18:00～

元宝塚花組トップ娘役

大島れい氏 ステージ

28日(金) 休会

グーグルの自動運転車

本年(2012年)9月25日に、カリフォルニア州において、公道での「自動運転車」の試験走行を許可する法案が成立しました。これにより、インターネット企業であるグーグルが推進してきた実証研究は、さらに前に進めることができるようになります。

グーグルが開発中の自動運転車は、トヨタ自動車のプリウスをベースに、屋根の上や前部に各種センサーを装備しています。このセンサーが他の車や歩行者などを感知し、接触しないよう間隔を保ちながら走行するもので、最終的には視覚障害者が一人でも移動できるような、完全自動走行を目指しています。

財政危機に直面しているカリフォルニア州政府としても、本法案に関しては、相当な思い入れがあったようです。ブラウン知事は、わざわざグーグル社の本社に出向いて法案に署名しながら「非常にエキサイトだ」と語ったといわれています。

さて、このニュースを読む限り、グーグル自動車が今後は晴れて公道で走行できるようになると思われるかもしれませんが、実際はそうではありません。といいますか、話はもっと進んでいて、すでに30万マイル(約48万キロ)の公道を含むテスト試験を実施してきていたのです。もちろん、結果は大成功で、グーグル自動車は無事故で走り抜けることができました(軽微な2件の事故に巻き込まれたようですが)。

では、ここからが本題ですが、なぜ法案通過前に公道を走行できたのでしょうか? グーグルは違法を承知でテストを行い、州政府もそのことを黙認してきた・・・という訳では決してありません。実は、グーグル自動車は、きちんと「仮免」を取ってテスト走行していたのです。アメリカでは、仮免を取ると、公道で堂々と練習ができます。本来は「人間」用に想定された規定でしょうが、「機械」に対しても、同様の扱いをただけというわけです。

テスト走行はネバダ州で行われていました。同州では、仮免での路上運転では成人ドライバーが横に座っている必要があります。グーグルの自動運転車の場合も、試験走行の認可条件として、成人ドライバーが常に2人の同乗が義務付けられていたそうです。

相手が機械であっても、人間と分け隔てなく、同じ試験プロセスに乗せるというのは、いかにもアメリカらしい発想です。今回の事例のように、結果予測が難しい問題に関しては、「途中のプロセスの正当性を検証することで、議論を先に進める」という発想がなかったら、堂々巡りから抜け出す突破口は見つけれなかったのではないかと思います。私たち日本人も見習うべき点ではないでしょうか。